



石見エリア

日本遺産のまち

今も昔も変わらない

幕末に花開いた城下の風情を、今も大切に受け継ぐ町。美しい自然と古い町並み、人との出逢いが、箱庭のように詰まっています。



日本五大稲荷の一つ 太誠谷稲成神社

表参道の朱塗の千本鳥居は圧巻

津和野城(三本松城)の鬼門に建立された太誠谷稲成神社。朱塗りの鳥居が連なる参道を上る途中、お狐様の祠を見つけてみて。



津和野

城下の水路だった掘割に鯉が遊ぶ

上級武士の屋敷町だった殿町通りは、旧家老屋敷、藩校養老館跡、郡庁跡などの史跡と、カフェが混在するメイン通り。



殿町通り



歴史と文化薫る山陰の小京都

四方を山に囲まれた津和野町は、鎌倉末期の築城以来、江戸時代に亀井氏11代の城下町として繁栄しました。澄んだ空気と水の音を感じながら、歴史ある町の凛とした姿を訪ねてみては。



山間の盆地に広がる町並み

150年前の町の姿を留めた貴重な資料

日本遺産・津和野今昔～百景図を歩く～

津和野百景図とは、幕末の津和野藩の様子を記録した文書の一つ。藩内の名所、自然や風景、産業、特産品、伝統芸能、人々の暮らしなどが、100枚の絵と解説で綴られています。



かつて三本松城と呼ばれていた津和野のシンボル、津和野城跡



百景図をガイドコンシェルジュが案内

津和野町日本遺産センターは、文化庁認定のストーリーを通じ、コンシェルジュが町の歴史文化・見どころを解説する無料施設です。百景図(複製)の展示も公開されており、旅の始めに立ち寄って。



津和野町日本遺産センター

森鷗外の足跡を訪ねる資料館



津和野藩医の家に生まれ、軍医と文学者二つ顔を持つ森鷗外。森鷗外記念館・旧宅は、60歳までの生涯を旅することができます。



空想の翼が広がる安野ワールドを体感



安野光雅美術館



津和野出身の画家・安野光雅の作品を紹介する安野光雅美術館。ギャラリーのほか、絵本が揃う図書館やプラネタリウムも。



隠れキリシタンの歴史を垣間見る



山中に建立された乙女峠マリア聖堂は、明治初期、長崎から送られこの地で殉教したキリシタンの霊を慰める場所です。



日帰り温泉も堪能魅力凝縮の道の駅



津和野駅前から車で7分。道の駅津和野温泉なごみの里は、レストラン・産直市場・竹細工体験工房のほか、天然ラドン温泉が楽しめる本格温泉施設も完備。石見神楽の定期公演も行われます。



ホッと甘さで茶菓みに最適

代表銘菓の源氏巻は、小豆餡を薄いカステラ生地で平たく巻き上げたもの。菓子の原型は元禄年間誕生と伝えられ、町内では今も約10店がその味を競っています。



今も鉄道ファンを魅了する“貴婦人”

新山口駅から津和野駅を結ぶ山口線では、昭和初期の客車を復刻した快速SL「やまぐち号」が運行中。乗車の際は日程をチェックして。



SL「やまぐち」号

津和野の星空と宇宙にワクワク

1985年に開設した津和野町立にちはら天文台は、国内初の公開型天文台。口径75cm反射望遠鏡で満天の星空を観測できるほか、昼間は太陽観測が楽しめます。敷地内の星と森の科学館も人気。



にちはら天文台



静寂が包む歴史的建築と名庭



町中から8kmほど山間へ。堀庭園は、中国地方の鉱山で栄えた豪族堀氏の邸宅と裏庭。書院造の客殿2階からの回遊式庭園と裏山の眺めは絶景で、どこを切り取っても一幅の絵のよう。

